

# 政策シート (政策名) 美術館の魅力の創出

(予算費目名) 美術館費

(総合計画体系)

「分野」 文化・生涯学習

30年後の姿 創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。

- 10年後の目標
- ・ 音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。
  - ・ 多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

## ◆基本政策 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

### ◇政策の概要

市民の芸術文化活動を促進するため、市民文化の創造拠点を担うとともに、優れた美術作品の鑑賞機会を提供するなど、多様なニーズに応えることができる美術館の事業の充実を図る。

### ◇関連するSDGsのゴール

④教育									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### ◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	94,412	115,520				
決算	79,795					
人件費(A)	51,800	51,800				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	131,595	167,320				

### ◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
展覧会入場者の満足度(来場者アンケート)	%	目標	70	80	80	80	80	80
		実績	95					
施設の満足度(来場者アンケート)	%	目標	50	60	60	60	60	60
		実績	83					
		目標						
		実績						

### ◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

・空調設備機器等の維持管理、燻蒸、収蔵品管理システムの更新など、施設・設備を維持管理し、良好な美術館環境を保つことができた。  
・企画展2本・特別展1本・平常展等の展覧会を開催し、優れた美術作品の鑑賞機会を提供できた。また、作品調査・研究に取り組むとともに多様なニーズに応えるよう事業の充実を図った。

### ◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
・機器類の適切な管理運営により、美術品を適切な温湿度管理下で保存・展示することができた。また、作品の計画的な燻蒸や安全移動などの他、収蔵品管理システムを更新するなど良好な美術館環境を提供することができた。 ・重要文化財を含む日本画展・現代美術展・地域ゆかりの作家による写実絵画展など、初めて美術館に来館される方から美術愛好家まで、幅広い方にご来館いただき、年間の観覧者数は開館以来最高の17万人となった。また、来場者アンケートは満足度で95%であった。今後も魅力の創出に努めていく。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	美術館運営事業	○	○			70,187	44,287	3.5			0.5
2	美術館展覧会開催事業	○	○	○		94,982	69,082	3.5			0.5
3	美術館資料購入基金積立金					1,348	1,348				
4	美術館運営経費(一般諸経費のみ)					803	803				
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						167,320	115,520	7.0			1.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

## 事業シート (事業名) 美術館運営事業

### ◇事業目的・事業対象

美術館施設・設備を適切に維持管理し、良好な美術館環境を保ち、適切な美術館運営を図る。  
美術館資料の収集及び収蔵品の適切な保存管理を行う。

### ◇事業の概要

- 美術館維持管理事業
  - ・快適な美術鑑賞の場を提供するほか、適切な施設管理に努める。
- 美術館資料収集保存事業
  - ・収蔵品の保全・保存を図るための修復や額装
  - ・ガラス絵などの額縁や作品展示ケースの修繕など
  - ・収蔵品管理システムの運用
  - ・収蔵品及び寄贈作品の調査

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S46	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法	○	—	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	35,278	44,287				
	決算	29,609					
	国・県支出						
	市債						
	その他	6,004	4,141				
	一般財源 一般会計繰入金	23,605	40,146				
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		25,900	25,900				
人工	正規	3.5	3.5				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.5				

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

・国内外の優れた作品を鑑賞できる環境づくりや教育普及活動により、美術との出会いの場を広げるとともに美術の知識を深めることができる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
空調設備整備工事の実施					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	達成	温湿度管理	温湿度管理	温湿度管理	温湿度管理	温湿度管理	温湿度管理
実績値	達成	達成					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 美術館維持管理事業
  - ・施設の清掃、警備、くん蒸及び消防・空調設備等の維持管理等
- 美術館資料収集保存事業
  - ・収蔵品の保全・保存を図るための修繕
  - ・収蔵品管理システムの更新
  - ・寄贈作品の調査及び収蔵品としての受け入れ

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- 美術館維持管理事業  
機器類の適切な管理運営により、美術品を適切な温湿度管理下で保存・展示することができるとともに、作品の計画的な燻蒸や安全移動など、良好な美術館環境を提供することができた。
- 美術館資料収集保存事業  
寄贈作品の相談・調査・研究を行い、多様な寄贈作品を受け入れることができた。  
収蔵品管理システムの更新に伴い、操作性の向上・遠隔地データの保管・作品公開など時代に対応したクラウド型システムを導入できた。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・設備機器の管理を行いながら良好な美術館環境を維持管理できた。
- ・寄贈相談のあった作品について調査・研究を行い、多様な寄贈作品を受け入れた。今後も継続していく。
- ・クラウド型収蔵品管理システムの導入により、操作性が向上するとともに、遠隔地でのデータの保管等が可能となった。今後は付加機能を活用していく。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・美術館運営についての考え方による運営を推進していく。
- ・来館者にとって快適な鑑賞や憩いの場となるようサービス向上に努め、市民ニーズに対応した環境整備に取り組む。
- ・良好な空調機器類を維持できるよう適切に施設管理していくとともに、収蔵品管理システムの付加機能を活かし、収蔵品情報の公開など時代に対応した取り組みを行っていく。

## 事業シート (事業名) 美術館展覧会開催事業

### ◇事業目的・事業対象

市民に優れた美術作品の鑑賞機会を提供し、市民の芸術文化の向上を図るとともに、「創造都市・浜松」の実現に寄与する。

### ◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.184】

#### ○平常展開催事業

・市展(R3.2.2~2.12) ・浜松ゆかりの収蔵品展(R2.7.11~9.13) ・館蔵品展(R2.11.24~12.20)

#### ○企画展開催事業

・仲山計介展(R2.4.25~6.14) ・国芳から芳年へ展(R2.9.26~11.8) ・みほとけのキセキ展(R3.3.25~4.25)

#### ○特別展開催事業

・くまのパディントン展(R2.7.11~9.13)

#### ○教育普及事業

・ギャラリートーク、ワークショップ、講演会 など ・教員向け研修、博物館実習  
 ・出前講座 ・子どもの市展 ・展覧会図録の刊行 ・美術館年報の作成  
 ・市民参加型のボランティア導入についての調査

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法	○	○	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	56,825	69,082				
	決算	48,045					
	国・県支出						
	市債						
	その他	50,493	36,463				
	一般財源	-2,448	32,619				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		25,900	25,900				
人工	正規	3.5	3.5				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.5				

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

・国内外の優れた作品を鑑賞できる環境や教育普及活動により、美術との出会いの場を広げるとともに美術の知識を深めることができる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
展覧会観覧者数(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	75000	83000	85000	85000	85000	85000	85000
実績値	101575	174622					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
市展応募作品数(点)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	350	350	350	350	350	350	350
実績値	254	273					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
収蔵品展観覧者数(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		2000	2000	2000	2000	2000	2000
実績値	1978	1590					184
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 平常展開催事業
  - ・市展(R2.2.4~2.16) ・新収蔵品展(R2.2.25~3.26)
- 企画展開催事業
  - ・上村松園展(H31.4.27~6.9) ・スーパーリアルワールド展(R1.9.28~12.15)
- 特別展開催事業
  - ・木梨憲武展(R1.7.13~9.8)
- 教育普及事業

- ・子どもの市展、浜松市とスイス・ベルン市の絵画交流展
  - ・ギャラリートーク、ワークショップ、講演会 など
  - ・教員向け研修、博物館実習
  - ・展覧会図録の刊行 ・美術館年報の作成

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

- ・夏の「木梨憲武展」では、若者~中高年層を中心に10万人弱の方が現代美術に触れる機会となった。
- ・重要文化財を含む多数の日本画を展示した「上村松園展」や浜松ゆかりの作家による写実絵画の展覧会「スーパーリアルワールド展」では、美術愛好家を含め好評を得た。
- ・市内はもとより県外からも、家族連れなど幅広い世代の方に鑑賞していただき、観覧者数は昨年度の10万人を遥かに超え、開館以来最高の170,000人を超える来館者となり、目標の83,000人を大きく上回った。今後も魅力ある展覧会を企画していく。
- ・市展の応募作品数は前年並となった。今後は募集要項の早期配布、配布範囲を広げるなどPRを含め工夫していく。
- ・新たに美術館の取り組み内容をまとめた美術館年報を作成しホームページで公開した。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

・重要文化財を含む日本画展・現代美術展・地域ゆかりの作家による写実絵画展など企画展2本、特別展1本、新収蔵品展を調査・研究し開催できた。また、SNSにより経費をかけずに展覧会の魅力を広く情報発信した。  
・教育普及事業について、ワークショップ、出前講座などを実施し、延べ6,005人参加した。また、子どもの市展には、市内の幼稚園(60園)、小・中学校(146校)が参加し、各園や学校の力作が集まった展覧会となった。その他、新たに美術館年報を作成した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・専門職員(学芸員)による美術調査・研究の成果を展覧会や教育普及活動等に積極的に活用していく。  
・教育普及活動は、児童・生徒など小中学校と多く関係している。今後は大学生・社会人など幅広く深く学べるようギャラリートークやワークショップ等を展開していく。  
・展覧会を企画する際は教育的な価値のほか、コスト面・集客力などを考慮しつつ、誘客にも力を入れていく。  
・浜松ゆかりの美術文化等にも触れる機会を充実させていく。



令和2年度

(管理番号)  
06 01 08 01 000633000 02

(担当課)  
美術館

(責任者)  
飯室 仁志

(基準日)  
令和 2 年 7 月 1 日

## 補助シート (事業名) 美術館展覧会開催事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
184	浜松ゆかりの作家・作品の顕彰(調査研究・展覧会)や収蔵品の活用等	浜松ゆかりの作家・作品の顕彰(調査研究・展覧会)や収蔵品の活用等	浜松ゆかりの作家・作品の顕彰(調査研究・展覧会)や収蔵品の活用等	浜松ゆかりの作家・作品の顕彰(調査研究・展覧会)や収蔵品の活用等
〇〇				

令和2年度

(管理番号)

06 01 08 01 000633000 03

(担当課)

美術館

(責任者)

飯室 仁志

(基準日)

令和 2 年 7 月 1 日

## 事業シート (事業名) 美術館資料購入基金積立金

### ◇事業目的・事業対象

基金の利息や寄附金を美術館資料購入基金へ積み立てる。

### ◇事業の概要

- ・篤志家等からの寄附金を美術館資料購入基金へ積み立てる。
- ・美術館資料購入基金の運用利息を基金へ積み立てる。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S49	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市美術館資料購入基金に関する条例	—		

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1,345	1,348				
	決算	1,345					
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,345	1,348				
	一般財源						
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)							
人工	正規						
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

・誰もが国内外の優れた作品を鑑賞できる環境や教育普及活動により、美術への出会いの場を広げるとともに美術の知識を深めることができる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
美術館資料購入基金への寄附者(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	1	1	1	1	1	1	1
実績値	0	0					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・篤志家等からの寄附金を美術館資料購入基金へ積み立てる。
- ・美術館資料購入基金の運用利息を基金へ積み立てる。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

美術館資料購入基金への寄附者なし。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・運用利息の積み立てを行った。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・運用利息の積み立てを行う。
- ・次年度に向けてホームページで寄附金の案内を行えるよう準備を進める。

令和2年度

(管理番号)  
06 01 08 01 000633000 04

(担当課)  
美術館

(責任者)  
飯室 仁志

(基準日)  
令和 2 年 7 月 1 日

# 事業シート (事業名) 美術館運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	964	803				
	決算	796					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	796	803				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)							
人工	正規						
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

## 政策シート

(政策名) 美術館の魅力の創出

(予算費目名) 秋野不矩美術館費

(総合計画体系)

「分野」 文化・生涯学習

30年後の姿 創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。

- 10年後の目標
- ・ 音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。
  - ・ 多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

## ◆基本政策 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

## ◇政策の概要

秋野不矩美術館の管理運営と資料の収集・保存を行い、市民に優れた鑑賞機会を提供するとともに、芸術文化活動を支援する。

## ◇関連するSDGsのゴール

④教育									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## ◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	86,613	59,226				
決算	84,100					
人件費(A)	23,800	23,800				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	107,900	83,026				

## ◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
市民ギャラリー利用日数	日	目標	30	30				80
		実績	43					
入館者数	人	目標	13000	19,000				30,000
		実績	12244					
		目標						
		実績						

## ◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

秋野不矩美術館の管理運営と資料の収集・保存を行い、市民に優れた鑑賞機会を提供するとともに、芸術文化活動を支援する。

## ◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	進んでいる
・老朽化により劣化が進んでいた空調設備の改修工事、屋根・外壁点検改修工事等を実施し、適切な施設の維持管理に努めることができた。	
・秋野不矩画伯の作品を修復し、所蔵品の充実を図ることができた。	
・所蔵品展、特別展ともに入館者数が目標にはやや達しなかったものの、春に実施した堂本印象展では、他地域の秀逸な日本画作品を広く市民の方々に紹介することができた。	



◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	秋野不矩美術館運営事業	○	○			44,480	30,480	1.6			1.0
2	秋野不矩美術館展覧会開催事業	○	○	○		38,137	28,337	1.4			
3	秋野不矩美術館運営経費					409	409				
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						83,026	59,226	3.0			1.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

## 事業シート (事業名) 秋野不矩美術館運営事業

### ◇事業目的・事業対象

文化勲章受章者である日本画家秋野不矩の業績を広く紹介し、全国に情報発信するため、秋野不矩美術館の管理運営と秋野不矩資料の収集・保存を図る。

### ◇事業の概要

#### ○維持管理事業

快適な美術鑑賞の場を提供するほか、市民の創作活動の発表の場として市民ギャラリーの貸出を行うなど、当館の適正な維持管理に努める。また、経年劣化のため不具合が発生した箇所があった場合、迅速に対応を進めていく。

#### ○施設整備事業

屋根・外壁点検改修工事、照明改修工事を着実に実施し、作品保全と安全で快適な観覧環境づくりに努める。

#### ○資料収集保存事業

秋野不矩画伯の作品の資料充実を図るため、計画的に作品の修復を進めるとともに、作品の購入を進める。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H10	-	一般会計	自治事務(その他)	博物館法	○	-	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	68,730	30,480				
	決算	66,925					
	国・県支出						
	市債						
	その他	279	199				
	一般財源	66,646	30,281				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		14,000	14,000				
人工	正規	1.6	1.6				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0				

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

・安全で快適な観覧環境の整備に努める。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4				
					第1期	第2期					
市民ギャラリー利用日数					-						
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6				
目標値	84	30	30	60	60	80	80				
実績値	68	43									
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4				
					第1期	第2期					
年度					H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値											
実績値											
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4				
					第1期	第2期					
年度					H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値											
実績値											
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4				
					第1期	第2期					
年度					H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値											
実績値											
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4				
					第1期	第2期					
年度					H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値											
実績値											

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

<p>○維持管理事業 快適な美術鑑賞の場を提供するほか、市民の創作活動の発表の場として市民ギャラリーの貸出を行うなど、当館の適正な維持管理に努める。</p> <p>○施設整備事業 経年劣化のため不具合が発生している箇所について、計画的に修繕を行い適正な施設の維持管理に努める。</p> <p>○資料収集保存事業 秋野不矩画伯の作品の資料充実を図るため、計画的に作品の修復を進める。</p>
--

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p><input type="text" value="進んでいる"/></p> <p>・改修工事のための休館があったが、所蔵品展を94日間、特別展を38日間開催するとともに、企画展示室を市民ギャラリーとして43日間利用していただくなど、施設を活用して来館者・利用者に適切な文化的サービスが提供できた。</p> <p>・経年劣化が進んでいた空調設備改修工事、屋根・外壁点検改修工事等を実施し、適切な施設の維持管理に努めることができた。</p> <p>・秋野不矩画伯の作品を修復し、所蔵品の充実を図ることができた。</p>
---

・事業の見直し

実施結果

大項目  現状  小項目  /  事業費  現状  人工  現状

- ・施設の適正な維持管理に努め、来館者が快適な美術鑑賞の場として、また市民が意欲的な創作活動の発表の場とすることができた。
- ・秋野不矩画伯の作品を修復し、所蔵品の充実を図ることができた。

今後の方向性

大項目  現状  小項目  /  事業費  現状  人工  現状

- ・専門職員(学芸員)による調査研究の成果を、展示事業や芸術普及事業などにより活用していく。
- ・経年経過による老朽化した設備等の修繕(更新)工事を計画的に進めていく。
- ・秋野不矩の作品の収集を計画的に進めていく。
- ・周辺の文化施設等と連携し、文化振興や地域振興を促進する。

令和2年度

(管理番号)  
06 01 08 02 000633000 02

(担当課)  
美術館

(責任者)  
飯室 仁志

(基準日)  
令和 2 年 7 月 1 日

## 事業シート (事業名) 秋野不矩美術館展覧会開催事業

### ◇事業目的・事業対象

文化勲章受章者である日本画家秋野不矩の業績を広く紹介するため、本館所蔵の作品を展示する所蔵品展を開催する。また、秋野不矩を取り巻く日本画家の作品を紹介し、現代日本画壇における秋野芸術を理解するため特別展・企画展を開催する。

### ◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.184】

#### ○所蔵品展開催事業

本館所蔵作品を中心に秋野不矩の業績を広く紹介する所蔵品展を年4回開催する。

#### ○特別展開催事業

秋野不矩を取り巻く日本画家の作品を紹介する特別展を年2回開催する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H10	-	一般会計	自治事務(その他)	博物館法	○	○	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	17,478	28,337				
	決算	16,893					
	国・県支出						
	市債						
	その他	4,755	11,960				
	一般財源	12,138	16,377				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		9,800	9,800				
人工	正規	1.4	1.4				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

良質な展覧会を企画・運営し、市民の方々への教育普及に努める。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
収蔵品展観覧者数(人)					-		184
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	10000	7000	7000	10000	10000	10000	10000
実績値	11196	6886					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
特別展観覧者数(人)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	28000	6000	12000	20000	20000	20000	20000
実績値	21874	5358					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 所蔵品展開催事業  
本館所蔵作品を中心に秋野不矩の業績を広く紹介する所蔵品展を年3回開催する。
- 特別展開催事業  
秋野不矩を取り巻く日本画家の作品を紹介し、現代日本画壇における秋野芸術の理解を深めるため特別展を年1回開催する。

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p><input type="text" value="進んでいる"/></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所蔵品展を94日間開催し、6,886人の来館者に秋野不矩の作品、業績を広く紹介した。</li> <li>・特別展を38日間開催し、5,358人の来館者に秋野不矩を取り巻く作家たちの作品を紹介することで、秋野不矩作品に対する理解を深めることができた。</li> </ul>
---

・事業の見直し

実施結果

大項目  現状  小項目  /  事業費  現状  人工  現状

・所蔵品展、特別展ともに入館者数は、やや目標には達しなかったものの、春に実施した特別展「堂本印象展」では、他地域の秀逸な日本画作品を広く市民の方々に紹介することができた。

今後の方向性

大項目  現状  小項目  /  事業費  現状  人工  現状

- ・専門職員(学芸員)による調査研究の成果を活かし、企画等を工夫することにより、誘客に努めていく。
- ・新東名(愛知県内)開通による集客増を図るため、各種媒体を活用した広報活動を展開していく。
- ・浜松ゆかりの美術文化等に触れる機会を充実していく。

令和2年度

(管理番号)  
06 01 08 02 000633000 02

(担当課)  
美術館

(責任者)  
飯室 仁志

(基準日)  
令和 2 年 7 月 1 日

## 補助シート

(事業名) 秋野不矩美術館展覧会開催事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
184	浜松ゆかりの作家・作品の顕彰(調査研究・展覧会)や収蔵品の活用等	浜松ゆかりの作家・作品の顕彰(調査研究・展覧会)や収蔵品の活用等	浜松ゆかりの作家・作品の顕彰(調査研究・展覧会)や収蔵品の活用等	浜松ゆかりの作家・作品の顕彰(調査研究・展覧会)や収蔵品の活用等
〇〇				



令和2年度

(管理番号)

06 01 08 02 000633000 03

(担当課)

美術館

(責任者)

飯室 仁志

(基準日)

令和 2 年 7 月 1 日

# 事業シート

(事業名) 秋野不矩美術館運営経費

## ◇事業目的・事業対象

## ◇事業の概要

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		

## ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	405	409				
	決算	282					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	282	409				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)							
人工	正規						
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

## ◇SDGsとの関連

### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

### ・事業とゴールの関連性

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工